

9	鼻	鼻が描いてあること。(鼻孔のみのときも十。従ってNo.9 およびNo.44共に十)
10	腕と脚のつけ方A	腕と脚のつけ方がほぼ正しいこと。すなわち、両腕両脚が胴から出ている。(胴から出ていればよい)
11	まゆまたはまつ毛	まゆかまつ毛、またはその両方が描いてあること。
12	衣服	衣服があること。裸ではないことがわかりさえすればボタンやポケット、バンドなどが示されるだけでよい。首と分離した胴体だけでは一。腕がそこから出ていた場合は十。ズボンがわかれば十。
13	毛髪B	頭の輪郭の上に描いたり、植えたようなものより進んで、頭皮の出していないこと。
14	首	頭および胴と区別されるべきくびの部分があること。
15	腕と脚のつけ方B	腕は両方とも肩、または肩にあたるところについていること。脚は胴の下から出ていること(両脚とも)。
16	指	どんな形でもよい。とにかく指が描いてあればよい。
17	首の輪郭	首の輪郭がはっきりと描出されていること。No.14の場合は線でもよいが、No.17では輪郭が必要(頭部または胴部のどちらかに線が連続していること)。
18	脚の割合	脚の長さが胴より長く、胴の長さの2倍以下で、脚の幅が長さより小(長い方の脚で割合は算出される)。
19	衣服2以上	衣服を示すものが2つ以上描いてあること。たとえば帽子とベルト、上衣と靴など、透明でなく、明確に身体をおおうように描いてあること。(連続線で身体か衣服か不明のものは一)
20	両眼の瞳	瞳があること。(両眼あれば両眼とも存すること)
21	眼の形	眼の横の長さが、縦の幅より大きいこと。(両眼あれば両眼とも)
22	耳	とにかく耳があればよい。(腕と混同しないことが必要)